

# 目次

口 絵

刊行のことば

監修のことば

まえがき

凡 例

上田市誌刊行会長 上田市長 平尾 哲 男  
東京大学教授 文学博士 佐藤 信

## 第一章 年中行事

豊かな生活を求める年中行事

第一節 正月……………3

一 正月の準備……………3

正月の準備はススハライから 松飾りは年神様を迎える場所 二十九日を避けて餅つき

神聖な場所を示す注連飾り 前垂れにつける飾り 便所・井戸にも飾ったお注連

二 大晦日と年取り……………8

年神様を祀る年棚づくり 年神様は五穀豊穡の神様 主婦はお節料理作りに大忙し

幸村も食べた鮭 家族揃って年取り 除夜の過ごし方

目次 三 大正月……………11

	若水汲みと四方拝	正月の食事は餅とお節料理	正月三が日の食事と習慣	年始回りと初詣で
	お正月はいつまで	多彩な正月行事		
四	六日年取りと七草	六日年取りはカニ年取り	七日正月と七草粥	16
五	小正月	マツメドシとマルメドシ	物づくり(まゆ玉)	まゆ玉の食べ方
	二十日正月			子供の行事ドンド焼き
六	節分	鬼は外福は内(豆まき)	節分に残る大晦日の行事	節分のいろいろ
				22
第二節	春から夏へ			25
一	道祖神	道祖神と馬引き行事	子供たちが取り仕切った道祖神	昔は七夕に飾った藁馬
		道祖神の後片付け	お稲荷さまの祭り	25
二	ひな祭り	節供と節句	ひな祭りは女の子の節句	雛の語源とひな祭りの起源
		古くなった雛の始末		雛人形は家具屋が売った
				28
三	端午の節句	鯉のぼりが泳ぐ端午の節句	菖蒲を使う昔からの風習	端午の節句の供物は粽・柏餅
				31
四	七夕	軒端に揺れる七夕飾り	河原に小屋を造り泊まった	七夕送り
		七夕にまつわる伝承		「天の川」とタイマツ火
				34



	春祭り	秋祭り	祈年祭	新嘗祭	祇園祭	大祓
(2)	供え物	出役	祭りの仕方			
(3)						
(4)	下郷	大星神社	半過	築地	科野大宮社	野竹
	上室賀	小牧	鎌原	下組	別所温泉院内	前山
						吉田神社
						仁古田
二	同族のまつり	祀る神と供え物	山浦氏	石井氏	西沢氏	中村氏
三	屋敷に祀る神	下郷の田中氏	常田の三戸部氏	上本郷の綱島氏	森の久保田氏	東前山の竹内氏
		下組の松崎氏	下組の綱島氏	野竹の内藤氏		
四	神棚に祀る神	祀る神々	御札の配置			
五	かまどや火に関する神	三峯神社	秋葉神社	荒神宮	愛宕神社	恵比須・大黒天
六	戸口・門口守りの神	魔除けのカニの札				
第二節	お寺やお堂					
一	お寺と檀家	寺と檀家				
二	寺院の行事	施餓鬼	灌仏会(花祭り)	お十夜と八十八夜	大般若経会	報恩講と吞龍様

三	お堂など	80
	八日堂 大黒天 猫大明神 森のお堂 林之郷の十王様 延命地藏	
	岩門・諏訪部の大日如来堂 観音堂 馬頭観音 薬師如来 昆沙門堂 阿弥陀堂	
	地藏尊堂 不動明王(不動尊) 虚空蔵堂 火定の跡 鬼子母神 釈迦堂	
第三節	生業の神	88
一	山の神	88
	大山祇神 山の神の祭り 山の神の祭りは仕事を休む	
二	実りへの祈り	90
	実りの神(祭神) 戸隠講 豊作への祈り 節日の農事休み 実りの秋に感謝	
三	職業による祭り	93
	大工さんの祀る神 鍛冶屋さんが祀る神	
第四節	道祖神と天神講	94
一	道祖神	94
	道祖神祭りの呼び方 道祖神とは 道祖神の祭り 各地区での道祖神祭り	
二	ワラウマヒキ	97
	各地区でのワラウマヒキ ワラウマヒキのお餅	
三	古老が語る昔の道祖神祭り(昭和三―四年ごろ)	99
四	天神講	101
	各地の天神講	

(1) 戸隠講……………104

講への参加範囲 費用の出し方 代参の時期 各地区の戸隠講

(2) 三峯講……………106

各地区での三峯講

(3) 大山石尊講……………108

各地区の大山石尊講

(4) 伊勢講……………109

各地区での伊勢講

(5) その他の講での代参……………111

古峯講 御嶽講 米子不動講 その他の講 地元の荒神講

二 日待ち講……………112

(1) 庚申講……………112

(2) 甲子講……………113

三 月待ち講……………113

二十三夜講 十五夜講と十九夜講

四 念仏講……………115

五 その他の講……………116

蘇民講

第六節 共同祈願 ..... 118

一 雨乞い ..... 118  
火を焚いて祈る 神仏を川へ 岳の幟

二 風祭り ..... 121  
鎌で風を切る 幟旗を立てたり大火を焚く

三 虫送り ..... 122  
鳥追い祭り

四 疫病・悪魔払い ..... 123  
悪魔払い 占いや呪い

### 第三章 民俗芸能

祈りや喜びを表す暮らしの芸能

第一節 獅子舞 ..... 127

二つの系統の獅子舞

一 太神楽獅子 ..... 128

舞われる時期と場所 祭りの組織と神楽屋台 演目の構成とその内容

獅子と道化が戯れる面神楽 芝居から取り込んだ人気の演目 太神楽囃子と獅子唄 定着への伝承

二 三頭獅子 ..... 138

上演の機会と場所 所役の構成と地区の特色 獅子あやしとその採物 獅子の腰太鼓と摺り籠

演舞の形と歌詞の内容 三頭獅子の由来と伝承

## 第二節 里神楽と練り物

上田で唯一の里神楽 見せる祭りへの変貌と練り物

## 一 太郎山神社の太々神楽

上演の場所と時期 鶏面の扮装と芸態 猿田彦の扮装と芸態 翁舞の扮装と芸態  
太郎山太々神楽の沿革

## 二 祇園祭の出し物

神輿が中心の市街地の祇園祭 お山の天王とお舟の天王 ご祭礼屏風に豪華な山車 保野の祇園祭

## 三 御柱の曳き練り

生島足島神社の御柱祭 国分堀川神社の御柱祭 サーサ皆さん力入れて

## 四 大日堂二十五菩薩来迎会

間隔の長い開帳のたびに すべて借りもので演出

## 五 祭りの山車・屋台

前山の甲子祭山車と囃子 大日木の底抜屋台と囃子 格納されたままの鈴子の山車  
山車に巻かれた大龍丸の幕 上塩尻の山車と底抜屋台 木町の大獅子

## 第三節 地芝居と娯楽

見るものから演じるものへ 暮らしの中の娯楽の華

## 一 地芝居と演芸

農村舞台の集中した地域 神事奉納で禁令をのがれた知恵 舞台と客席が一体となって  
好まれた地芝居の出し物 買芝居と劇場 壮士芝居から青年の活動へ

## 二 訪れた旅芸人

お正月に来た旅芸人 時期を限らない旅芸人 器用な物売りの芸人たち

三	盆踊り……………	166
	輪踊りが中心    踊りに歌われる民謡    娯楽の輪を抜けて	
四	念仏唱和と大数珠まわし……………	169
	鎮魂の効果と心の交流    大数珠を繰り百万遍念仏    融通念仏の合唱など	
	第四節 競技……………	173
	一 相撲……………	173
	祭礼に行われた草相撲    草相撲のしきたり    大人から子供へ奉納相撲の変化	
	二 力石など……………	176
	一人前を示す力比べ    草競馬や射的など	
	第五節 子供の遊びとわらべ唄……………	178
	子供遊びとその変化	
	一 口遊び……………	179
	手遊びから肩車へ    ケブケブあっち行け	
	二 軒遊び……………	180
	道具を使った女の子の遊び    ホンコで競った男子のパッチン    炬燵中心の正月遊び	
	三 外遊び……………	183
	技能を競う男子の遊び    竹を材料にした遊具    丸けんけんとなわとび    野山や川で自然と遊ぶ	
	雪と氷上の遊び	
	四 辻遊び……………	187
	群れで遊ぶ鬼ごっこ    二手に分かれて行う遊び    演技が伴う女子の遊び	

執筆分担

表紙絵・挿絵

資料提供協力者

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙絵 常田と房山獅子

向かって右が房山獅子、左が常田獅子

背景に常田の大団扇（鶴面）を配する

裏表紙絵 御柱里曳き（下之郷 生島足島神社）

昭和五十四年